

宮本憲一先生 日本学士院賞受賞記念講演会 開催のお知らせ

大阪市立大学名誉教授の宮本憲一先生が今年6月、大著『戦後日本公害史論』（岩波書店、2014年刊）の功績で、「日本学士院賞」を受賞されました。このたび、宮本先生が長く教鞭をとられた商学部にも所属する教員らで実行委員会をつくり、下記の記念講演会を企画いたしました。ぜひご参加ください。

日時 2016年12月22日（木）14:45～16:15（4限）

会場 大阪市立大学杉本キャンパス 全学共通教育棟810教室

演題 「戦後日本公害史の教訓——環境をどう守るか」

申し込み不要（先着250名）、参加費無料

主催 宮本憲一先生日本学士院賞受賞記念講演会実行委員会

代表：清田匡（商学部長）

幹事：除本理史（商学部）、本多哲夫（同）、松永桂子（創造都市研究科）

顧問：荒川哲男（本学学長）

日本学士院の授賞審査要旨より抜粋

日本学士院賞 受賞者
宮本憲一



経済学博士宮本憲一氏の『戦後日本公害史論』に対する授賞審査要旨

宮本憲一氏は、早くから公害・環境問題の代表的な研究者とされてきた。戦後日本の公害史については資料中心の通史や詳細な年表はあったが、政治経済史との関連において分析された本格的な公害史は本書（『戦後日本公害史論』岩波書店、平成二六年七月）が初めてである。著者は、公害の実態を現場に入って調査しつつ理論的に重要で歴史的な教訓となる問題を中心に執筆しており、本書は通史というよりは公害史論であるとする。著者は、公害問題の解決のための運動や裁判に研究者として関わりをもったことがあり、そのことが本書の分析を鋭利なものとし、生き生きとした叙述を可能にしている。裁判事件の研究は時として相手への激しい非難・批判に走ることがあるが、著者は裁判記録を初めとする根本資料を博捜し、それらの分析に基づいた冷静かつ客観的な叙述に極力努めている。

本講演会は、実行委員会幹事の除本が担当する全学共通科目「日本の公害」の一環として開催されます。